

### 3 論の組み立て：意見の対比

#### 3.1 意見の対比

意見を提示するときには意見の「対比」に留意しなければならない。論の基本4パートにおける主張パートでは、なんらかの意見表明がかならず求められる。その論拠を示すうえでも、意見の対比は重要な切り口となる。また、意見を求めるタイプの小論文では、意見の対比をもとにパラグラフ構成を考えたほうがいい場合もある。意見の対比を示すことは、分析のひとつと考えてかまわない。

意見の対比とは、[正]の意見に対して[反]の意見を組み合わせることだ。正・反の実際の内容には、たとえば次のようなパターンがある。どのようなテーマであれ、こうした組み合わせをつねに考える必要がある。

[正] 支配的な意見	[反] 例外的な意見
[正] 多数意見	[反] 少数意見
[正] 肯定的な意見	[反] 批判的な意見
[正] 常識的な正論	[反] 突飛な暴論
[正] 穏便な提案	[反] 過激な提案
[正] 保守的な意見	[反] 急進的な意見
[正] ローリスク案	[反] ハイリスク案
[正] 同情的な意見	[反] 冷淡な意見
[正] 現状維持	[反] 心機一転
.....	.....

これ以外の組み合わせも考えられるだろうし、複数のパターンを組み合わせたパターンもありうるだろう。そもそもどういうパターンを考えるか自体にも、分析の視点が込められている重要なことは、意見の社会的文脈を意識すること、どのような意見だろうとも、別の視点からの「反論」が存在することを明示することだ。正・反の組み合わせを検討すること自体が、重要な考察のひとつである。

#### 3.2 自説の位置づけ

自説を提示するとき、対比すべき意見は三種類ある。正・反それぞれの意見および自分の意見である。この三つの意見の相互の関係を明らかにすることにより、自分の意見の位置づけを明確にできるのだ。場合によっては、自分の意見は正または反のいずれかに重なるかもしれない。たとえそのような場合であっても、自分の立つべき位置を示すことができる。意見に説得力を持たせるには、自分の意見プラス正・反の意見の組み合わせが必要なのだ。

#### 3.3 意見表明の基本4パート

意見表明を目的とする小論文であれば、次の4パートが構成の基本となる。

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| (i) 現状の批判    | : 課題の背景、現状、対応すべき問題点   |
| (ii) 意見 [正]  | : 問題に対する肯定的な意見、多数意見など |
| (iii) 意見 [反] | : 問題に対する少数意見、逆説的意見など  |
| (iv) 自分の意見   | : 自分の意見とその根拠          |

これは論の基本4パートの変形である。(i) 現状の批判は、論の基本4パートの現状分析と問題提起をあわせたパートである。そして(ii)から(iv)で記述する内容は、意見の対比という形式を用いて主張とその根拠を示すものであり、それに加えて自分の意見を総括として表明する。論の構造はおなじでも、示し方が異なるにすぎない。

意見表明の4パートに基づく記述をおこなうときは、この(i)～(iv)の順におこなうのが基本である。しかし、構造さえ明確であれば、順序を変えることは表現上可能だ。最初に現状の批判を置き、自分の意見を最後に提示するというのは、たしかに

筋道だった記述ではある。しかし、意見自体のアピール力は弱い。意見表明の場合、読み手に対する印象を強くするために、あえて意見を冒頭に掲げるという方法もありうる。要は、書き手が意見をどのようにアピールしたいか次第だ。

意見を強くアピールするときは、(i + iv) → (ii) → (iii) → (iv) という組み合わせが効果的である。この場合、自分の意見が正・反いずれとも大きくは重なっていないことが必要である。また、(ii・iii) パートでは正・反いずれの意見にも問題があることを明示しなければならない。当然ながら、自分の意見の独自性・正当性を示せなければ、このような展開は逆効果になってしまう。逆に、それを示すだけの根拠があれば、意見を冒頭に置くことで説得力を強めることが可能だ。この展開は、自説に自信があるときの方程式といえよう。

(この回おわり)

### 【演習問題 3】 意見の対比形式で論ぜよ。

- 課題 1 : 福田総理は北京五輪の開会式に出席すべきか。
- 課題 2 : 成人年齢を 18 歳に引き下げる意味があるのか。
- 課題 3 : Web のフィルタリング機能は必要か。
- 課題 4 : 児童ポルノの単純所持を法規制したほうがいいのか。
- 課題 5 : 道路特定財源の一般財源化は実現できるか。
- 課題 6 : 後期高齢者医療制度を撤廃するべきか。
- 課題 7 : 日本の CO<sub>2</sub> 対策は世界レベルでみて進んでいるか。
- 課題 8 : 私立大学の学費は適切な水準といえるか。